

モーリタニア月例報告
(2025年9月)

2025年10月
在モーリタニア日本国大使館

【内政】

9月18日 内閣改造

【外政】

9月9日 イスラエルによるカタール攻撃に関するモーリタニア
外務省声明及びモーリタニア・カタール首脳電話会談
の実施

9月15日 アラブ・イスラム緊急首脳会議におけるガズワニ大統
領発言

9月24日 メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大
臣の二国家解決に関する閣僚会合への出席

9月27日 メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大
臣の第80回国連総会一般討論演説

【経済】

9月4日 ガズワニ大統領の第4回アフリカ域内見本市（IAT
F2025）の討論セッションにおける発言

【その他】

9月29日 リフトバレー熱の発生に関する保健省発表

【内政】

●内閣改造

(9月18日付、当地政府系メディアAMI)

1 大統領府は、本18日に発令された大統領令により、モハメド・マフムード・シェイフ・アブダッラー・ウルド・バイヤ(前法務大臣)を大統領府顧問大臣に任命する。

2 大統領府は、本18日に首相の提案に基づき発令された大統領令により、以下の閣僚を任命する(当館注:以下に記載されている閣僚は変更があった閣僚ポスト。それ以外の閣僚は留任)。

(1) 法務大臣:モハメド・ウルド・スウェイダット(前公務・労働大臣)

(2) イスラム・伝統教育大臣:エル・ヴァディル・ウルド・シダティ・ウルド・アフメド・ルーリー(前漁業・海洋インフラ・港湾インフラ大臣)

(3) 経済・開発大臣(新省庁名):アブデッラーヒ・スレイマン・シェイフ・シディヤ

(4) 財務大臣(経済・財務省から分離):コディオロ・ムッサ・ンゲノレ(前経済・財務大臣付予算担当大臣)

(5) 保健大臣:モハメド・マフムード・エリ・マフムード

(6) 公務・労働大臣:マリエム・ボイディエル

(7) 漁業・海洋インフラ・港湾インフラ大臣:モクタール・アフメド・ブセイフ(前不動産・国有財産・土地改革大臣)

(8) 農業・食料主権大臣:シディアフメド・ウルド・ブー(前経済・財務大臣)

(9) 牧畜大臣:シディ・アフメド・ウルド・モハメド

(10) 不動産・国有財産・土地改革大臣:マムドゥ・ママドゥ・ニャン(前住宅・都市計画・国土開発大臣)

(11) 住宅・都市計画・国土開発大臣:ナハ・ハムディ・ムクナス

【外政】

●イスラエルによるカタール攻撃に関するモーリタニア外務省声明及びモーリタニア・カタール首脳電話会談の実施

(9月9日付、当地政府系メディアAMI)

1 外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人省声明

(1) 国際的な憲章および法規に対する露骨な違反として、イスラエルは本日、カタールを攻撃した。

(2) 外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人省は、国連加盟国の独立国家の主権に対する明白な侵害を最も強い言葉で非難し、カタールの安全および同

国民の安寧を守るためにあらゆる面で同国と共に立つことを改めて表明する。同時に、湾岸地域の安全と安定を脅かし、緊張を一層悪化させるこの侵略に対して、国際社会が断固かつ厳格に対処するよう呼びかけるものである。

2 モーリタニア・カタール首脳電話会談

(1) イスラエルによる兄弟国カタールに対する侵略を受け、ガズワニ大統領は、タミーム・カタール首長と電話会談を行った。

(2) 会談の中で、同大統領は、この卑劣な侵略に対する強い非難と憤りを表明し、カタールを標的とし、その主権を明白に侵害し、国際法を踏みにじったこの侵略に対して、モーリタニアとして政府と国民を挙げて非難することを伝えた。さらに、同大統領は、モーリタニアがカタールおよびその兄弟たる国民と完全に連帯していることを強調した。

●アラブ・イスラム緊急首脳会議におけるガズワニ大統領発言

(9月15日付、当地政府系メディアAMI)

1 本日我々は、地域的・国際的に複雑な環境の中で、我らがアラブ・イスラム諸国の安全と安定に影響を及ぼす変数が交錯する、我らが共同体の歴史の転換点において会合している。この局面においては、高度な戦略的認識と緊密な連携が求められており、それにより現下の課題に対処し、将来の均衡を保証することができるのである。

2 カタールの首都ドーハに対するイスラエルの侵略は、偶発的な事件や一過性の出来事ではなく、占領当局が慣行として行ってきた一連の侵略政策の新たな一環であり、各国の主権を侵害し、沈静化と公正な平和の確立を目指す真摯な努力を挫く行為である。

3 モーリタニアは、この露骨な侵略を断固として非難し、カタールとの完全なる連帯を表明する。また、カタールの安全への攻撃はアラブ・イスラムの安全への攻撃にほかならず、その主権への侵害は看過し得ない深刻な挑発であると見なす。

4 カタールへの侵略は重大な緊張の高まりであり、占領当局に平和への政治的意志が欠如していることの明確な証左である。それは、侵略と虐殺の道を歩み続ける姿勢を露呈し、地域的・国際的な平和と安全を直接脅かし、安定の基盤を揺るがし、集団安全保障体制の国際的基準を損なうものである。

5 我々は、地域で高まりつつある非伝統的な力学を認識しており、それは我が国に重大な戦略的負担を課すものである。したがって、安全と安定を守るために、共通の絆と連帯の価値を強化することが不可欠である。現段階の性質は、個別的反応から統一かつ一貫した立場への移行を要請しており、それが事態の展開に影響を与えることができる。

6 伝えるべき明確なメッセージは、侵害と事態の深刻化をもたらす政策は沈黙で応じられるのではなく、国家の主権を守り、人民の尊厳を守り、国際法を国際の平和と安全の基礎として回復するために関連する国際的枠組みに基づく真剣な共同行動で応じられるということである。

7 この点で、国際社会とその制度、特に国連安全保障理事会の役割は選択肢ではなく必然である。国際秩序の規範を遵守させる直接の責任を負っているからである。また、持続的安定への包括的アプローチは、地域紛争の核心であり均衡の鍵であり、いかなる公正かつ恒久的な平和の基盤でもあるパレスチナ問題を無視してはならない。

8 結びに、モーリタニアは、アラブ・イスラムの団結を改めて呼びかけ、民族の利益と尊厳を守り、その安全と安定を脅かす試みを阻止することを強調する。

●メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣の二国家解決に関する閣僚会合への出席

（9月24日付、当地政府系メディアAMI）

1 メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣は、ニューヨークで開催された二国家解決に関する閣僚会合に出席した。本会合は第80回国連総会の一環として開催されたものであり、サウジアラビアがEU及びノルウェーと連携して立ち上げた「二国家解決実施のための国際同盟」発足から一年を経て行われたものである。さらに、本会合は数日前に国連総会において「ニューヨーク宣言」が採択された直後にあたる。

2 同大臣は発言の中で、今回の会合を主催したサウジアラビア、ノルウェー及びEUに深甚なる謝意を表するとともに、「ニューヨーク宣言」の策定に尽力したサウジアラビア及びフランスの努力を高く評価した。同宣言はパレスチナ国家承認という重要な成果をもたらし、法と正義を優先し国際法の要請に従いパレスチナの権利を支持した諸国に謝意を表明したうえで、他の国々も国際

社会の多数派に加わるよう呼びかけた。なお、同宣言は140か国以上の支持を得て採択された。

3 また、同大臣は「二国家解決は譲歩ではなく、約80年前に国連が採択した分割決議の趣旨そのものである」と強調した。そして、近年イスラエルがガザ地区で2年間にわたり行ってきた大量虐殺に直面する中で、この承認は不可欠なものであると訴えた。

4 さらに、同大臣は現在の情勢がこの同盟に対し、大きな成果を維持し、二国家解決という国際社会が唯一恒久的平和を実現し得る解決策と位置づける目標の実現に向けた行動計画を策定することを求めていると指摘した。

5 加えて、同大臣は「150か国以上によるパレスチナ国家承認は極めて重要であるが、パレスチナ国家の現実的な樹立はいまだ多大な困難に直面している」と述べ、目標達成のため具体的かつ迅速な措置を講じる必要性を強調した。

●メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣の第80回国連総会一般討論演説

(9月27日付、当地政府系メディアAMI)

1 第80回国連総会の議長に就任したベアボック氏に対し、心より祝意を表す。その豊かな経験と卓越した能力が、本会期の円滑な運営に大きく寄与することを確信している。また、第79会期を高い力量で導いたヤン氏に深甚なる謝意を表し、さらにグテーレス国連事務総長が国連の発展とその役割強化のために尽力していることに謝意を表す。

2 ガズワニ大統領の挨拶と本会期の成功への祈念をお伝えすることを光栄に思う。同大統領の名において、モーリタニアを代表して発言する。

3 本会期は、国連80年にわたり人類に貢献してきた成果を祝う機会であると同時に、過去の歩みの中で顕在化した欠点や不均衡を冷静に見直す機会でもある。今日の世界は、第四次産業革命と人工知能へと急速に進む世界と、依然として貧困と疎外に苦しむ世界に二分されている。格差の拡大と紛争・戦争の多発は、人類に厳しい試練を課しており、我々は公正かつ包括的な人間中心の開発を通じ、この格差を是正する解決策を創出する必要がある。本会期のテーマ「共により良い未来を：80年とその先へ-平和、開発、人権のために」は、この崇高

な目標を的確に表している。

4 現在の国際情勢は極めて複雑であり、紛争、テロの脅威、気候変動による災害が人類の苦難を増大させ、国際の平和と安定を脅かしている。特に、ガザで進行する大量虐殺は国際社会の良心と国際システムの信頼性を根本から問うものである。モーリタニアはこの侵攻を強く非難し、パレスチナ人民の独立国家樹立と東エルサレムを首都とする権利を支持する。これは中東全体の安定に不可欠であり、関係する国際決議及びアラブ和平構想に基づくものである。

5 我々は、サウジアラビアとフランスの主導により2025年7月に開催された国際会議が、「二国家解決」実現に向けた「ニューヨーク宣言」を採択し、国連総会において大多数の支持を得たことを高く評価する。また、同会議を開催したサウジアラビアとフランスに謝意を表し、パレスチナを承認した諸国の勇気ある決断を称賛する。他国もこれに倣い、パレスチナが国連の完全な加盟国となることを期待する。

6 加えて、我が国はカタルに対する最近のイスラエルの侵攻を強く非難する。これは主権の侵害であり、国際法規に反するものである。さらに我々は、リビア、スーダン、イエメン、シリアにおける平和的解決を支持し、西サハラ問題に関する国連の取組を支援するとともに、ロシアとウクライナの戦争を交渉により終結させることを求める。他方で、ルワンダとコンゴ（民）、パキスタンとインドの間で達成された和平合意を歓迎する。

7 人類が紛争、貧困、疾病、気候変動に苦しむ中、公正で効果的な国際政治・経済・保健ガバナンスが必要である。そのためには国連の信頼を回復し、目的を遂行できるような均衡ある改革が不可欠である。モーリタニアは、アフリカ大陸の正当な要求を反映した「エズルウィニ合意」に基づく公平な代表権を再確認する。また、国際社会に対し、食料安全保障、気候変動、債務問題に直面する途上国への支援を呼びかける。

8 国内的には、法の支配と善政、正義と平等の価値を最優先課題とし、透明性向上、司法改革、議会の監視機能強化、腐敗防止、権利と自由の保障に取り組んでいる。さらにガズワニ大統領は、国民的合意と安定のため「対話」を国家運営の基本姿勢とし、全国民の参画を重視している。

9 社会的包摂の面では、教育施設や医療センター建設、農村開発を進め、国民

の結束を強化している。2019年から2024年の間に脆弱層向け医療保険制度の受益者数は147%増加し、国民の約21%に達した。人権面では、奴隷制の影響根絶、人身取引対策を推進し、約25万人のマリ難民を受け入れ、15万人超の移民の法的地位を正規化した。教育改革や職業訓練も進め、女性の社会参画と医療アクセス改善も推進している。テロ・過激主義対策では、治安対策と教育・思想的アプローチを統合した包括的戦略を展開している。経済面では、2024年に5%の成長を達成し、インフレ率は2.5%以内に収まる見通しである。再生可能エネルギーの導入やグリーン水素法の制定、国際協定締結、世銀支援による「DREAM」プロジェクトを進めている。また、砂漠化防止と環境保護を進め、ブラジルで開催予定の（気候変動枠組条約）COP30に積極的に参画する意向である。

10 結びに、モーリタニアは多国間協力の推進と国際ガバナンス改革に取り組み、持続可能な開発目標達成のための集団的能力を強化することを改めて表明する。我が国は引き続き、地域的・国際的な平和と安全を強化し、多様なパートナーシップを深化させ、人類全体が安全で尊厳ある生活を享受できる未来の実現に尽力する所存である。

【経済】

●ガズワニ大統領の第4回アフリカ域内見本市（IATF2025）の討論セッションにおける発言

（9月4日付、当地政府系メディアAMI）

1 私自身、そしてモーリタニア国民を代表して、テブン・アルジェリア大統領及びアルジェリア政府と国民の皆様、今回の機会において我々に示された格別のご配慮、温かい歓迎、そして寛大なもてなしに対し、心からの感謝を申し上げます。

2 また、アフリカ連合委員会（AUC）、アフリカ大陸自由貿易圏事務局（AfCFTA）、アフリカ輸出入銀行（Afreximbank）に対し、第4回アフリカ域内貿易見本市の成功を祝すとともに、この首脳級円卓会議の開催に感謝する。本会議は、生産能力、産業政策、経済多角化というテーマにおいて、我々が共有するAfCFTAの発展、そしてより統合され競争力と繁栄を備えたアフリカの構築という意味と完全に合致している。

3 モーリタニアに関して言えば、「成長の加速化と共有された繁栄戦略（SCAPP）」経済の多角化、持続的かつ包摂的な成長の達成に向けた道筋を導

く枠組みとしてきた。この戦略は、２０３０年までに年平均７％を超える成長率の実現、貧困率を２０％に削減、工業部門のＧＤＰ比を１５％に引き上げることを目標としている。これはすべて、大陸における経済統合と域内貿易の枠組みの中で進められている。その実現には、高品質な経済インフラの整備、民間部門の競争力強化、製造業基盤の多様化と拡大が不可欠である。

４ 我が国には豊富な天然資源がある。魚類資源に恵まれた海岸線、格付けの高いガス・エネルギー埋蔵量がある。例えば、鉱業部門はＧＤＰの約２０％、輸出の７６％を占める。我々は今後、年間３，５００万トンの処理能力増加を見込む新たな戦略的プロジェクトに取り組んでいる。金や銅のプロジェクトも成長を続け、現在稼働中のものもあり、今後さらに拡大していく予定である。これにより、鉱物資源の国内加工への道が開かれる。

５ エネルギー分野では、ＧＴＡプロジェクトが第一段階で年間２５０万トンのＬＮＧを供給し、第二段階で５００万トンへ、さらに２０２９～２０３０年までに１，０００万立方メートルへと拡大する予定である。再生可能エネルギーの潜在力も大きい。さらにBirAllahガス田には、ＧＴＡガス田の３倍のガス埋蔵量がある。

６ 漁業分野では、年間１８０万トンの生産能力を有し、国内加工の強化を通じて付加価値と雇用を創出することを目指している。農業食品分野では、２０３０年までに食料自給率５０％を達成することを目指している。

７ 我々は、資源の国内加工を多様化・深化させ、一次産品輸出に依存した経済から、多角的で競争力のある強固な製造基盤を持つ経済へと移行していきたい。そのために、新鉱業法、グリーン水素法、新投資法、ＰＰＰ法、公共調達制度改革といった抜本的な改革を開始している。再生可能エネルギーについては、現在４２％を占める割合を２０３０年までに７０％に引き上げる計画である。

８ 産業発展の成否は近代的インフラにかかっている。我が国は優先課題として港湾や高速道路の建設を進めている。ヌアクショット港は年５００万トン増の能力拡大を実現し、ヌアディブでは深海港を建設中であり、鉱物・漁業・物流の地域拠点となる予定である。ンジャゴ複合港の開発も進行中である。

９ 道路に関しては、ヌアクショット・ブティリミット高速道路（マリへの戦

略回廊)、ヌアディブ・ヌアクショット・ロツソ高速道路(ＥＣOWＡＳ圏との結合を強化)、ティンドゥフ・ズエラート道路(アルジェリアとの直接陸路を構築)が進行中である。我々の目標は、現在輸出額の２５％に達する物流コストを、アフリカ平均の１０％へ近づけることである。

１０ 我々はアフリカ輸出入銀行、アフリカ開発銀行(ＡｆＤＢ)、世界銀行と連携し、港湾・物流インフラ、中小企業、新興産業への資金供給を進めている。また、ＥＣOWＡＳやアラブ・マグレブ連合(ＡＭＵ)とも協力し、物流接続、規格統一、通関手続きの簡素化を進めている。モーリタニアを産業加工のプラットフォーム、大陸内貿易の結節点とすることを目指している。

１１ 最後に、我々の戦略における３つの最優先課題を強調したい。第１に、多様で雇用と付加価値を創出する産業の育成。第２に、インフラと港湾の近代化。第３に、金融・技術を含む強固な域内パートナーシップの構築である。モーリタニアは、鉱物、漁業、ガス、再生可能エネルギー、グリーン水素などの潜在力を、アフリカ全体の共通繁栄のための原動力に転換する決意である。

【その他】

●リフトバレー熱の発生に関する保健省発表

(９月２９日付、当地政府系メディアＡＭＩ)

１ 保健省は、モーリタニア国民に対し、トラルザ州(ロツソ)、ブラクナ州(アレグ)、アッサバ州(キッフア)の各州で、リフトバレー熱の症例３件が確認され、残念ながら患者が死亡したことを発表する。

２ 状況は制御下にある

(１) この状況を受けて、保健当局は直ちに流行対策計画を発動した。国家危機対策委員会が設置され、世界保健機関(WHO)及び技術パートナーと協力し、この病気の蔓延を食い止める取り組みを行っている。

(２) この病気について、人から人への感染は科学的に確認されていないことを強調しておく。

(３) 現在進行中の疫学調査により、確認された症例は感染した動物やその製品との接触に関連していることが確認されている。

３ リフトバレー熱とは？

リフトバレー熱は、主に家畜(羊、山羊、牛、ラクダ)に感染するウイルス性疾患であり、時折、人間にも感染することがある。ほとんどの場合(９

8%以上)、人間への感染は軽度で、インフルエンザと同様の症状（発熱、頭痛、筋肉痛、倦怠感）が現れる。

4 この病気はどのように感染するのか？

（１）人間への感染は主に以下の経路で起こる。

ア 屠殺や処理の際に感染した動物の血液や臓器に直接触れること。

イ 感染した動物の生乳や加熱が不十分な肉を食べること。

ウ 感染した蚊に刺されること（より稀）。

（２）この病気は人から人へ感染することはない。

5 国民のための予防策

保健省は、すべての国民、特に畜産農家、肉屋及び獣医師に対して、以下の対策を厳守するよう呼びかけている。

（１）畜産専門家向け

ア 病気の動物を扱う際には、手袋や保護具を着用すること。

イ 家畜の理由不明の流産は、直ちに獣医当局に報告すること。

ウ 動物の血液や体液に直接触れないようにすること。

エ 石鹸と水で定期的に手を洗うこと。

（２）一般市民向け

ア 肉はよく火を通してから食べること。

イ 牛乳は沸騰させてから飲むこと。

ウ 動物の血液を摂取しないこと。

エ 特に日没後は、蚊帳や防虫剤を使用すること。

オ 発熱、頭痛、筋肉痛などの症状が出た場合は、直ちに医療機関を受診すること。

6 監視体制の強化

疫学監視システムは、全国的に強化されている。すべての医療機関は、疑わしい症例を早期に治療するための注意喚起と訓練を受けている。迅速調査チームが、感染地域に派遣されている。

7 安心のためのメッセージ

保健省は、国民に対して以下のことを保証する。

（１）状況は制御されており、厳重に監視されている。

（２）医療サービスは全面的に動員され、必要な手段を備えている。

（３）予防措置は、遵守されれば非常に効果的である。

（４）国際機関との協力により、最適な対応が保証されている。

８ 集団的責任の呼びかけ

（１）この状況を受けて、我々はすべての市民に対し、予防措置を適用し、根拠のない噂の拡散を避けることで責任を果たすよう呼びかける。公式情報は、保健省によってのみ発表される。

（２）最新情報については、保健省の公式チャンネルをフォローすること。

（３）皆で協力して、健康を守ろう。